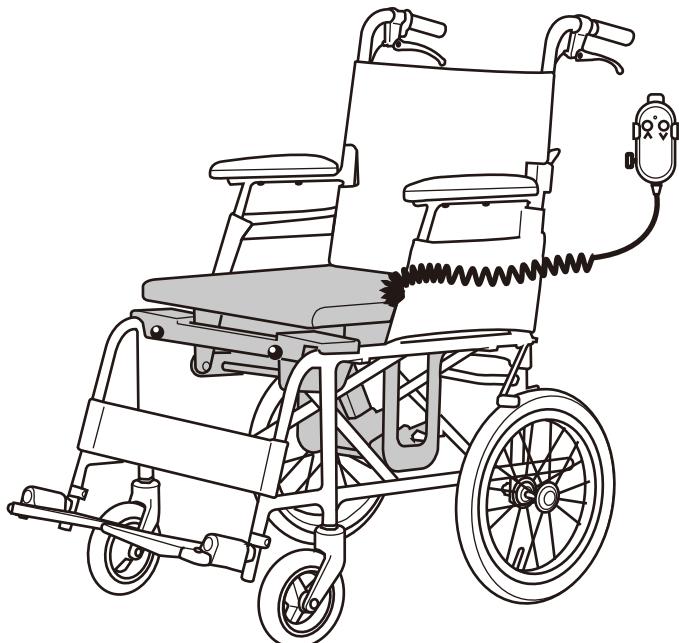


介助者のための電動リフトアップ車いす

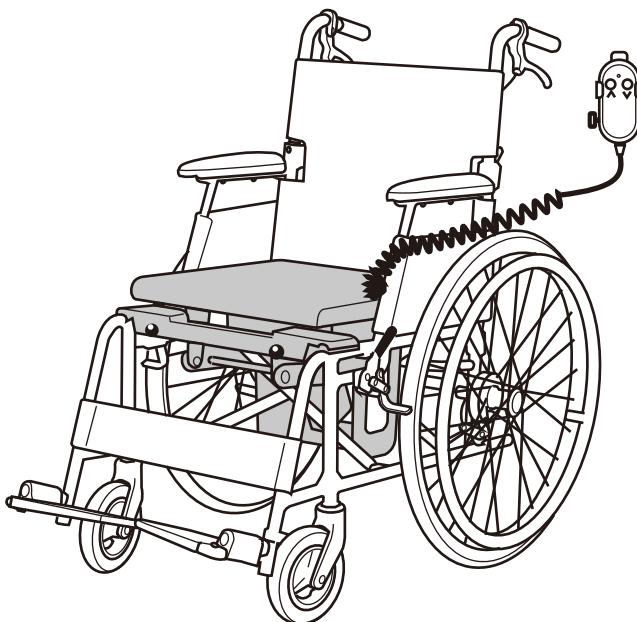
L78

取扱説明書・保証書

●介功用タイプ



●自走用タイプ



はじめに

- この度は、電動リフトアップ車いす『L78』をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございました。
- この商品を安全に正しくお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになった後は、いつも手元に置いてご使用ください。

⚠ 警告

当製品の昇降機能は、介助を行う人の腰への負担を軽減するための機能です。
被介助者がリモコン操作したり、起立補助を目的とした使い方はしないでください。
誤使用により、けがや重大な事故の原因となる恐れがあります。

安全上のご注意	2~3
使用上のご注意	4
各部の名前	5
フットサポート調整の仕方	6
使用前の点検	6
充電ケーブル接続の仕方	7
バッテリーの充電の仕方	7
バッテリーパックの取扱説明書	8
安全キーの使い方	9
シート昇降機能の使い方	9
駐車ブレーキの掛け方	10
車いすの押し方	11~12
シートユニットの取り外し	13
シートユニットの取り付け	13
車いすのたたみ方	14
シートユニットを床に置く際の注意	15
座面カバーの剥がし方	15
メンテナンス・保管方法	16
故障かなと思ったら	17
お手入れと保管	18
仕様	18
保証とアフターサービス	19
保証書	20

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

図記号の説明	
△ 警告	 禁止 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
△ 注意	 強制 誤った取り扱いをすると、人が※ ¹ 傷害を負ったり、※ ² 物的損害の発生が想定される内容を示します。
	 注意 △は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

※1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが、やけど、感電などをさします。

※2 物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペット等にかかる拡大損害を示します。

△ 警告	
 強制	リモコン操作は、必ず介助をする人が行うこと けがや事故の原因となります。
 禁止	フットサポートの上に立たないこと バランスを崩し転倒したり、製品を破損する原因となります。
 禁止	座面の下や駆動部には絶対に手や指を入れないこと けが・事故の原因となります。
 禁止	電源コードを傷めないこと 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理やりに曲げたり、引っ張たり、ねじったり、たばねたり、座いすでつぶしたり、重いものを載せたりしないこと また、移動中は挟み込んだりしないこと 電源コードが破損し、火災の原因となります。
 禁止	100V以外では使用しないこと 火災・感電・故障の原因となります。
 強制	座を昇降させている時に前後左右から圧力をかけないで下さい。 転倒するおそれがあります。
	 強制 車いすとして使用するときは、必ず座面を一番下まで下げること けが・事故の原因となります。
	 分解禁止 分解・改造・修理をしないこと 火災・感電・けがの原因となります。
	 強制 移動時以外は必ず駐車ブレーキをかけること けが・事故の原因となります。
	 禁止 電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと 感電・ショート・発火の原因になります。
	 強制 昇降時、座面の下に物や動物がいないことを確認すること けが・事故の原因となります。
	 強制 動かなくなったり、水に濡れた場合、異常がある場合はすぐに使用を中断すること 漏電やショートなどによる火災・感電の恐れがあります。お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

⚠ 警告

禁 止	子供をいすの上や下で遊ばせうこと けがや故障の原因になります。	浴室など湿気の多い場所で使ったり、保管しないこと 感電・火災・故障の原因になります。
	電源コードの配線は、通路を避けること コードにつまづいて転倒したり、破損や断線の原因になります。	電源コードやリモコン用コードはいすの下や背の間などを通さないこと 断線、故障の原因になります。
	暖房器具や、放熱機器の近くには設置しないこと 火災や変色の原因となり大変危険です。	製品の上に、危険なものや重いものを置かないこと 置いたものが落下し、けがや製品・家財を破損する原因になります。
	張り地を無理に引っ張ったり、刃物やとがったもので 突き刺したりしないこと けがや故障の原因になります。	

⚠ 注意

プラグを抜く	停電のときは直ちに電源プラグをコンセントから抜くこと 再通電されたときに事故の原因になります。	いすを移動させる際は、必ずコードを抜くこと。 またコード類をキャスターで踏まないこと。 けがや断線、故障の原因になります。
	ご使用後は電源プラグをコンセントから抜くこと 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になることがあります。	お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜くこと 感電やけがをすることがあります。
強 制	電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと 感電・ショート・発火の恐れがあります。	運搬の際は2人以上で行い、静かに設置すること 破損や傷の原因になります。
	電源コードに足を引っ掛けないように気を付けること けがの原因になります。	

禁 止	濡れた手で電源プラグを抜き差したり、リモコンを 操作しないこと 感電や故障・誤作動の原因になります。	いすを倒したり強い衝撃を与えないこと けがや故障の原因になります。
	電源プラグにピンやゴミを付着させないこと 感電・ショート・発火の原因になります。	製品に水をかけないこと 感電や故障の原因になります。
	ベンジン・シンナー等で拭いたり、殺虫剤を掛けないこと 感電・引火の原因になります。	1人用です。いすに複数人で乗らないこと けがや故障の原因になります。
	段差を無理に乗り越えないこと 製品を破損する原因になります。	座面に物を乗せて移動しないこと 故障の原因になります。
	アームレストやハンドルに物を吊り下げないこと けがや事故、故障の原因になります。	背もたれ部や肘掛部には乗らないこと けがや故障の原因になります。
	台車のような使い方はしないこと けがや故障の原因になります。	

使用上のご注意

△ 注意 製品を移動するとき以外は、駐車ブレーキをロックしてください。

当製品を使用する際は、故障及びけがの原因となる下記のような使用をお止め下さい。

- 1.操作は必ず介助者が行ってください。
けがや事故の原因となります。



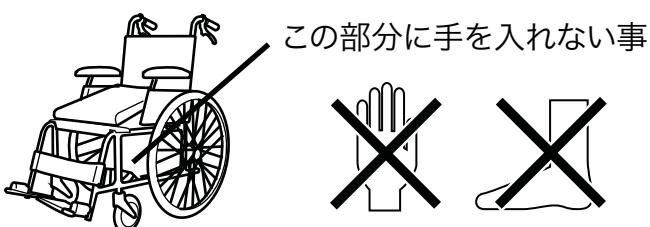
- 2.車いすから乗り降りする際は、必ず駐車ブレーキをロックしてください。
車いすが不意に動き出し、転倒する恐れがあります。
(駐車ブレーキの掛け方はp.9を参照)



- 3.車いすとして移動する際は、必ず座面を一番下まで下げてください。座面が上がったまま移動させると不安定になり大変危険です。



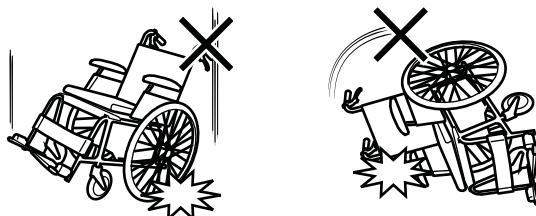
- 4.使用中、座面の下や駆動部には絶対触れないで下さい。



- 5.坂道や段差でリモコンを操作しないでください。
車いすが不意に動き出したり、バランスを崩して転倒する恐れがあります。



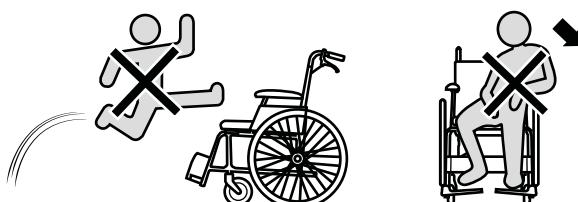
- 6.いすをひっくり返したり、落下させる等、大きな衝撃を与えないで下さい。



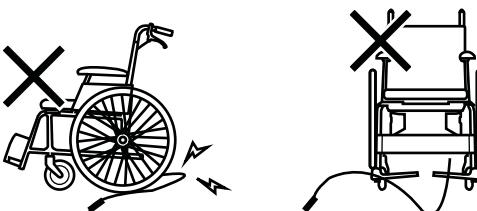
- 7.肘掛けなど座面以外に座ったり、座面の上に立ったり、耐荷重(75kg)以上の荷重を掛けないで下さい。



- 8.いすに勢いをつけて座ったり、飛び乗ったりしないで下さい。
また肘掛けの一方に寄りかかって体重を掛ける等、不安定な体勢で作動させないで下さい。



- 9.充電する際、電源コードは座面の下や脚の下を通さないで下さい。
つまづいて怪我をしたり、絡まって断線や故障の原因となります。
(バッテリーの充電方法はp.7を参照)



- 10.作動中に子供やペットを近づけないようにして下さい。
けがや事故の原因となります。

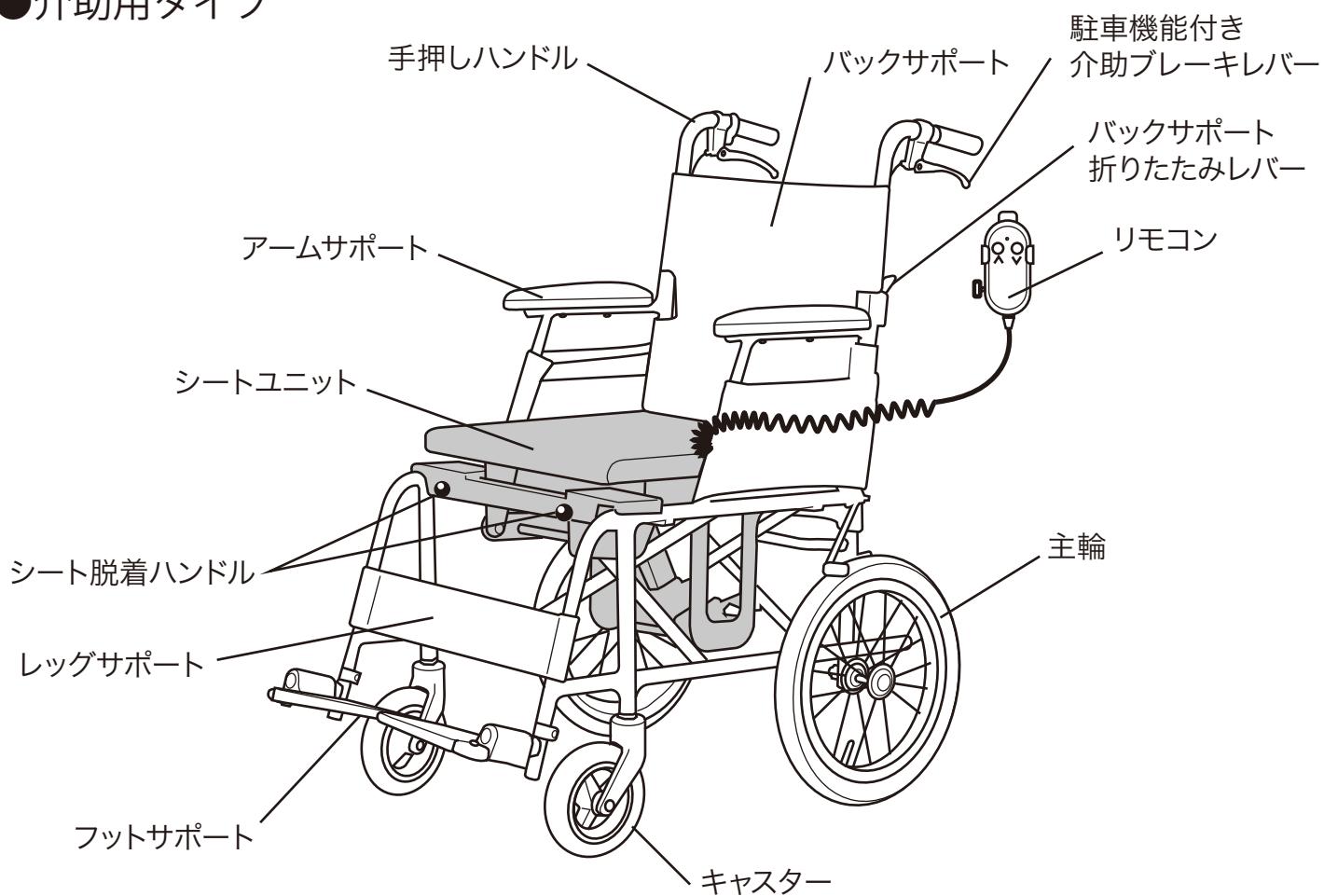


- 11.いすの下に手足や物をいれないで下さい
巻き込みやはさみ込み事故の原因となります。

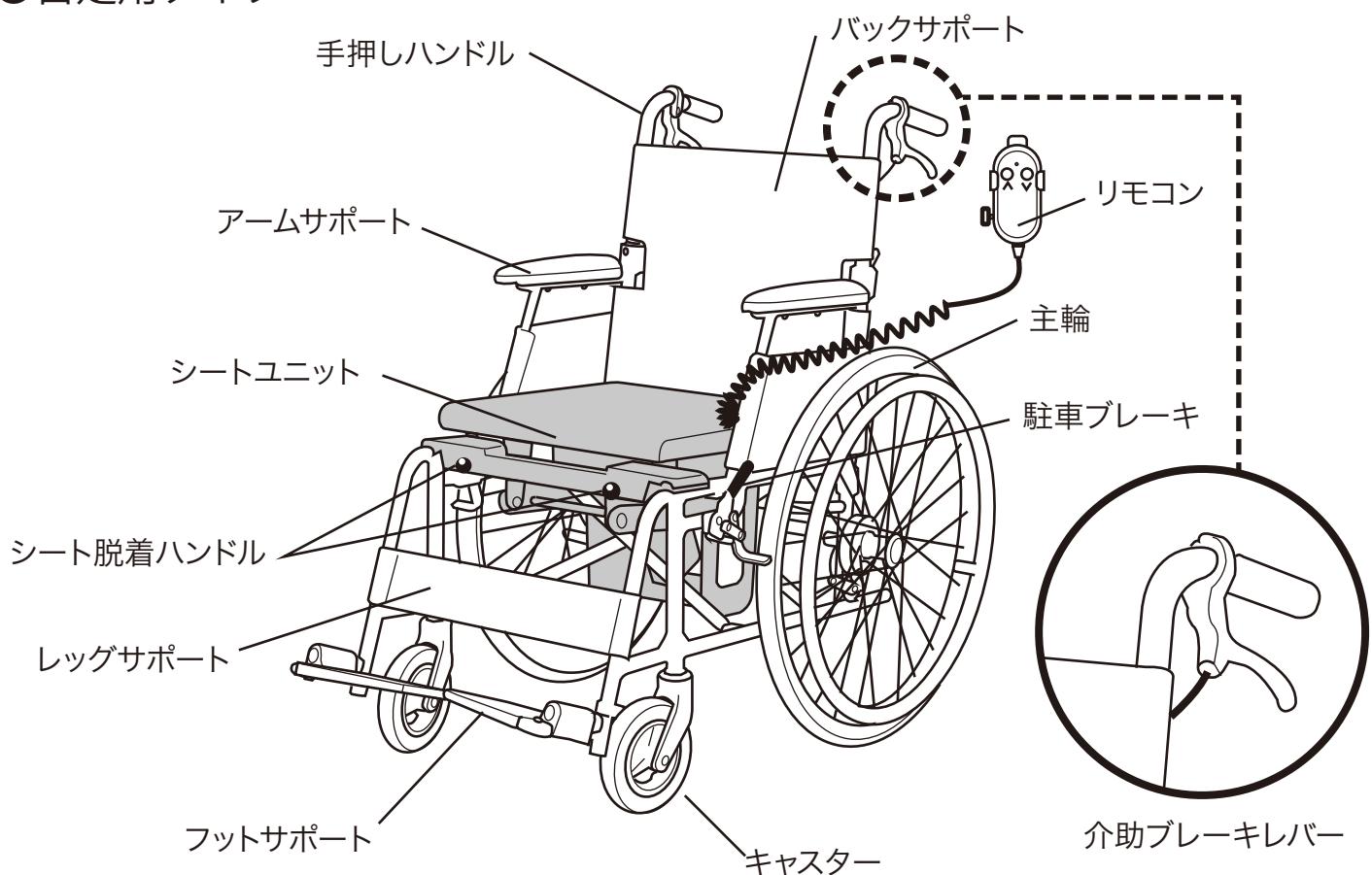


各部の名前

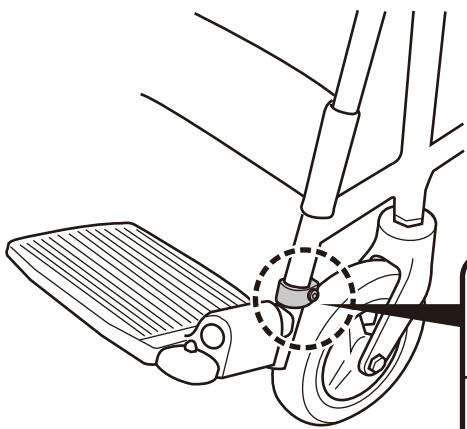
●介助用タイプ



●自走用タイプ

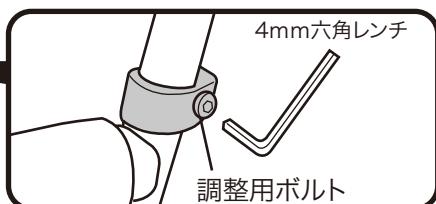


フットサポート調整の仕方



フットサポートの上にある調節用ボルトを4mm六角レンチで緩め、フットサポートの高さを合わせ、調節用ボルトをしっかりと締めこんでください。

※極端に強く締めこみすぎると、締め付け部やネジ山を破損する恐れがありますのでご注意ください。



※最低地上高は5cm以上推奨

- △ 注意
- ・調整後はしっかりと調整ボルトが締めこまれていることを確認してください。
 - ・フットサポートの最低地上高は地面から 5cm 以上取ってください。
下げすぎると段差やスロープに接触する恐れがあります。
 - ・フットサポートで立ち上ったり、腰かけたりしないでください。

使用前の点検

※必ず使用前に行ってください。

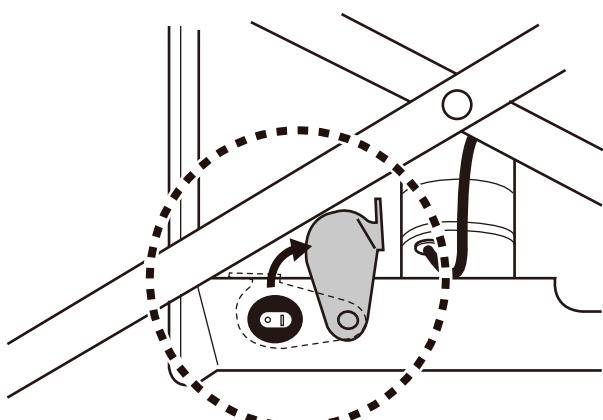
- 介助ブレーキが作動し、しっかりと効くことを確認してください。
- 駐車ブレーキが作動し、しっかりと効くことを確認してください。
- 介助ブレーキのワイヤーの張り具合が適当か点検し、正常に作動することを確認してください。
- 各部のネジ・ボルトに緩みがないか、フレーム等がガタつかないことを確認してください。
- シートやバックサポートに亀裂や破れがないことを確認してください。
- 主輪・駆動輪のタイヤの空気圧が適正なことを確認してください。不足している場合は補充してください。
- 主輪・駆動輪のタイヤの溝が十分であること、亀裂がないこと、エアバルブが破損していないことを確認してください。
- タイヤにがた・ゆがみ・曲がり等がないことを確認してください。
- 前輪キャスター及びキャスターフォークに変形・亀裂等がないことを確認してください。
- 各部のパーツに変形・破損がないことを確認してください。

△ 警告

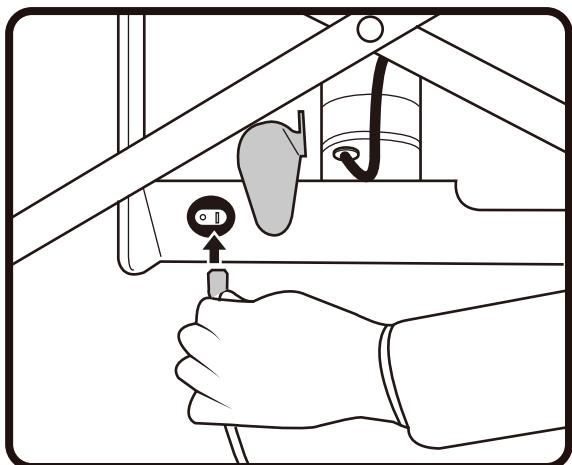
点検項目に異常がある場合はただちに使用中止し、速やかに取扱店に連絡し、修理・部品交換・調節をご依頼ください。

充電ケーブル接続の仕方

① バッテリー充電口のふたを開ける



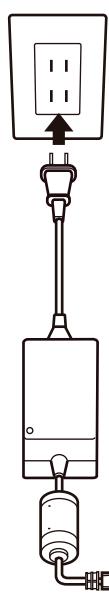
② 充電ケーブルを差し込む



バッテリーの充電の仕方

⚠ 注意
電源プラグの
差込は最後に！

③ 電源プラグ
を差し込む

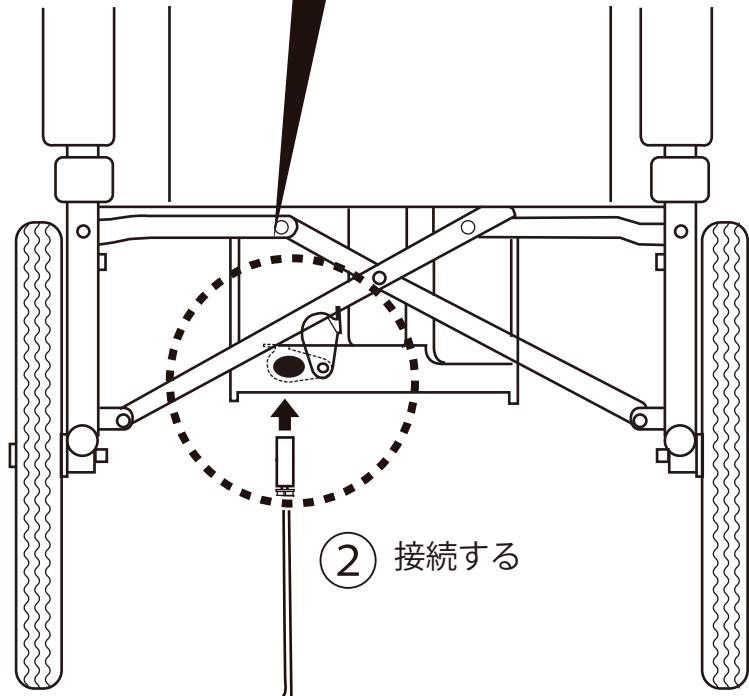


① 接続する

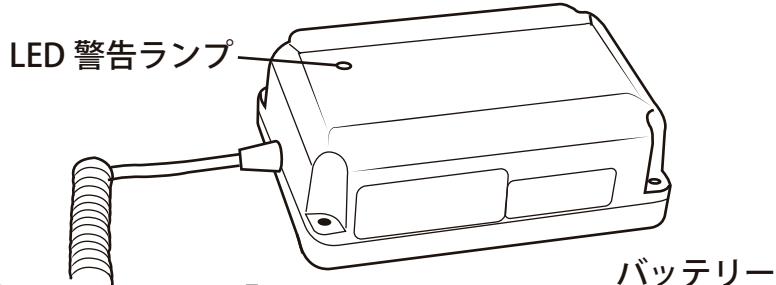
⚠ 注意

- ご使用前に必ずフル充電してください。
- 接続は①→②の順番で行い、③の電源プラグは最後に差し込んでください。
- 電源プラグや接続プラグを抜くときは、必ずプラグ部分をもって引き抜いてください。

⚠ 注意
端子の向きを合わせてください



バッテリーパックの取扱説明書



【LED警告ランプ、警告音について】

LED の色	LED の表示	警告音	残量	その時の状態
緑	点滅 (4秒置き)	なし	25%-100%	使用可
オレンジ	点滅 (4秒置き)	ピピピピ	25%未満	充電してください
-	消灯	ピピピピ	20%未満	充電してください
緑	点滅 (1秒置き)	ピーピー	-	充電開始
緑	連続点灯	ピー (5秒)	100%	充電完了

【バッテリーを長持ちさせるために】

- 開梱直後、使用前に24時間以上の充電を行ってください。
- 当バッテリーの特徴として、作動しなくともバッテリーの残量は減少します。
旅行等で、長時間ご使用にならないときは、お出かけの前に24時間以上の充電を行ってください。
- 約3週間以上作動を行わなかったときは、ご使用前に24時間以上の充電を行ってください。
- およそ一ヶ月以上放置すると、バッテリー残量がゼロになり、バッテリーの寿命、充電容量を低下させる
だけなく、バッテリーが使用できなくなる可能性がございますので十分ご注意ください。

【バッテリー交換の目安】

- 1回の充電で作動回数が著しく少なくなった時がバッテリーの交換時期です。(充電回数目安:250回)
(寒冷地ではバッテリー性能が低下する場合があります)
- バッテリーの交換は、当製品取扱店までご相談ください(交換は有料です)

【使用済みバッテリーは】

地方自治体、もしくはリサイクル業者にご相談ください。

【保証期間:お届け日より1年間】

バッテリー仕様

定格出力電圧	DC24V
容 量	1.2Ah
重 量	1.5kg
使用環境温度	0°C~40°C
サ イズ	175×116×60mm
バッテリーの種類	鉛蓄電池
充電回数目安	250 回
充電時間	約 12 時間

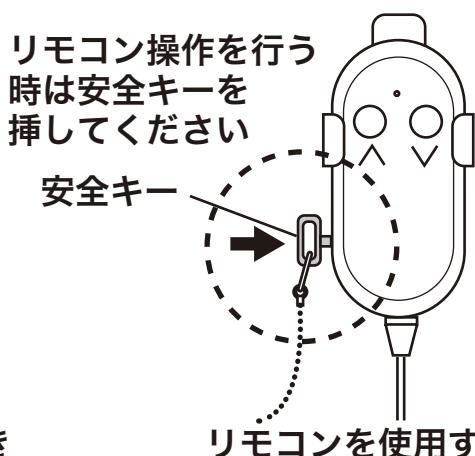
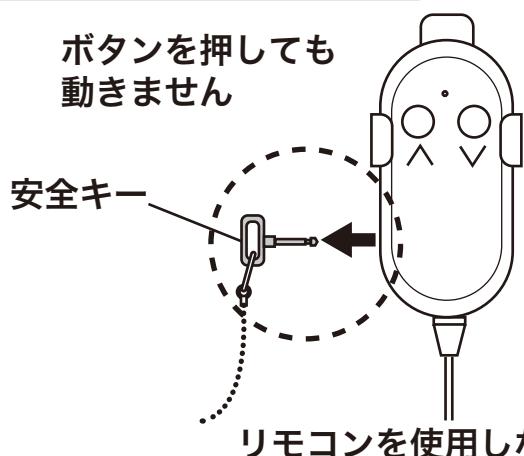
こんな時は

- バッテリーを手で触れないほど熱い
- 異臭や煙が出ている
- 充電を始めても緑色点滅しない

ただちに使用を中止し、当製品取扱店まで
ご連絡ください。

安全キーの使い方

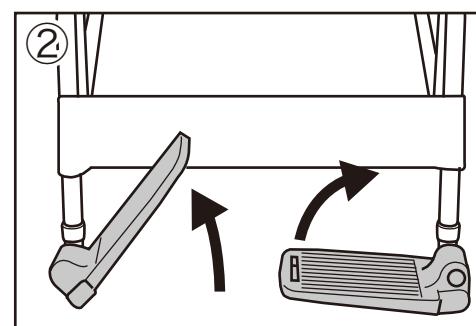
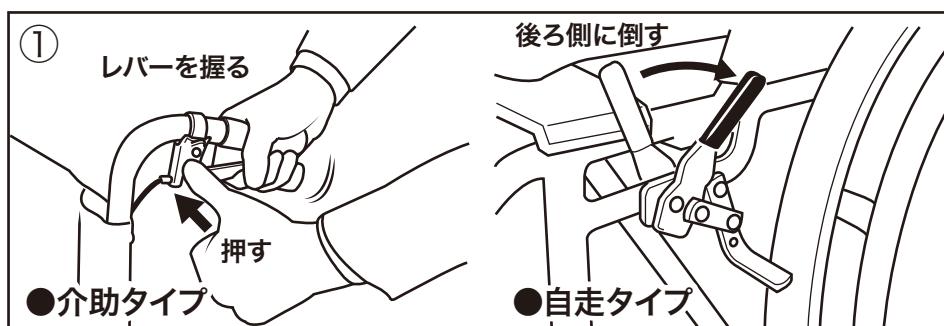
※誤作動を防ぐため、お届け時、安全キーは抜かれています。



△注意

誤作動を防ぐため、リモコン操作を行う時以外はリモコンの安全キーを抜いてください。

●シート昇降機能の使い方



まず最初に駐車ブレーキをロックしてください。

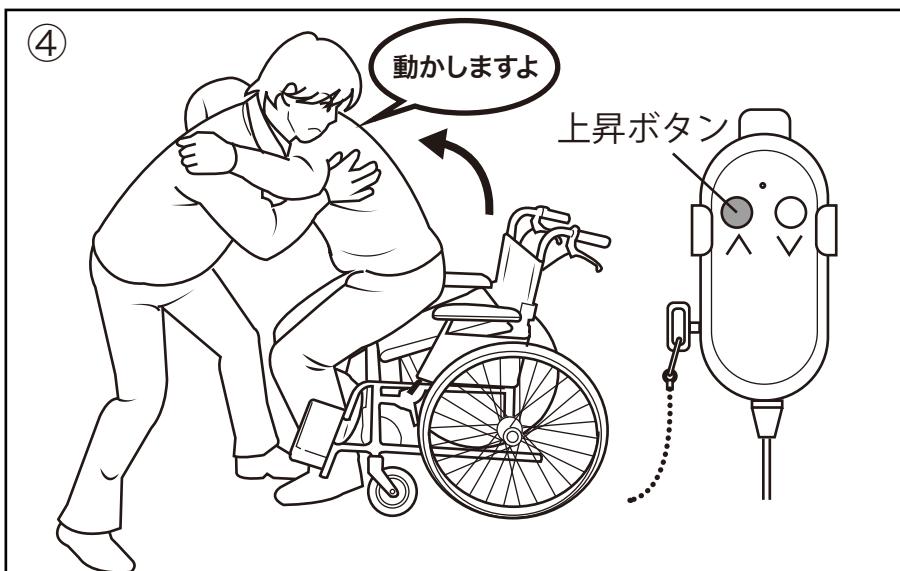
フットサポートを上げてください。

△注意

移動時以外は駐車ブレーキをロックしてください。
不意に動き出し、思わぬ事故につながる恐れがあります。



使用者の足が浮いてしまう場合は、足が付くよう前側に上体をずらしてあげてください。



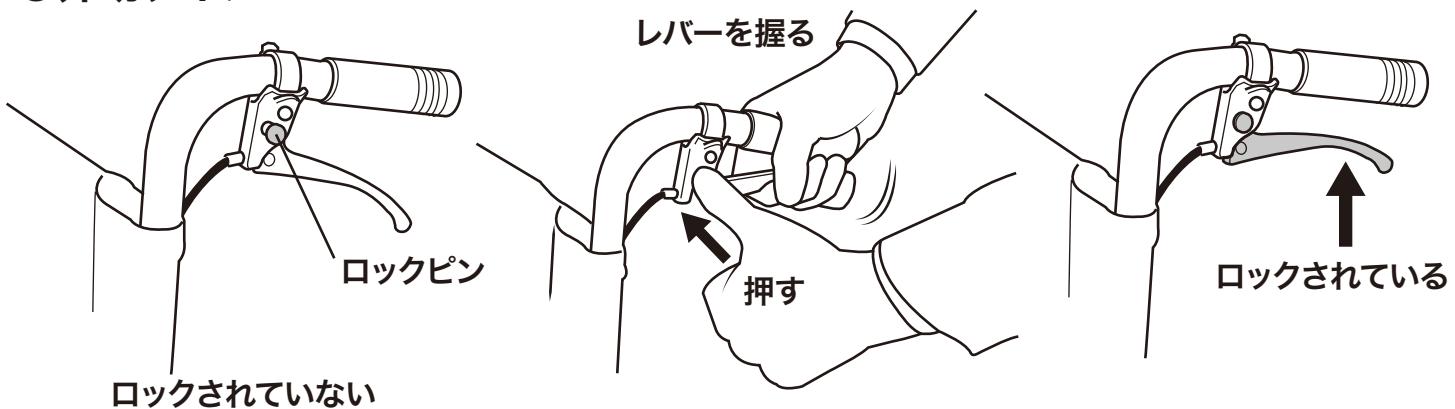
使用者に声をかけ、上体を抱えたままリモコンの上昇ボタンを押してください。

△注意

座面の高さ・角度はお好みの位置で止めてください。

駐車ブレーキの掛け方

●介助タイプ



<ロックをかけるとき>

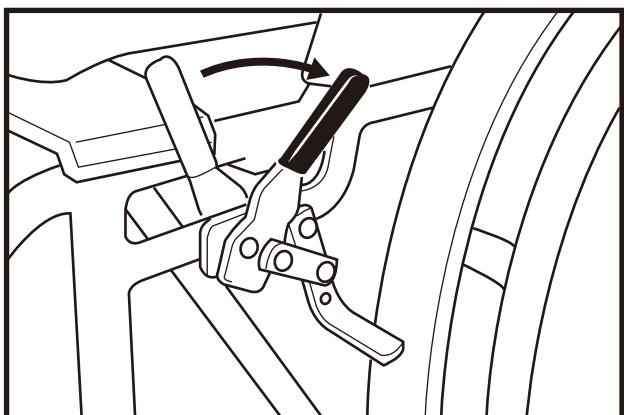
介助ブレーキレバーを握ったまま、ロックピンを押し込みます。ロックピンを押し込んだままブレーキレバーを離すと駐車ブレーキがかかります。

※ロックピンがしっかりと押し込まれ、駐車ブレーキがしっかりと作動していることを確認してください。

<ロックを解除するとき>

駐車ブレーキがかかっている状態で、ブレーキレバーを握るとロックピンが戻り、駐車ブレーキが解除されます。

●自走タイプ



<ロックをかけるとき>

駐車ブレーキレバーが車いすの左右両サイドにあります。

レバー先端の黒いゴム部分を持ち、後ろ側に倒すと駐車ブレーキがかかります。

<ロックを解除するとき>

駐車ブレーキレバーを前側に倒すとロックが解除されます。

△ 注意

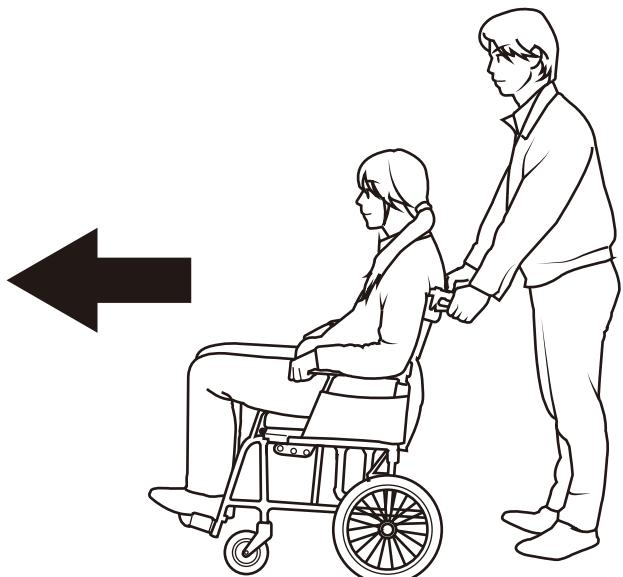
ブレーキレバーに体重を預けたり、脚でレバーを操作するなどは、レバーに強い力がかかり、故障の原因となりますので行わないでください。

△ 警告

ブレーキをかけていても、乗り降りの際に強い力がかかると車いすが動いてしまうことがありますので注意してください。
坂の途中で駐車しないでください。

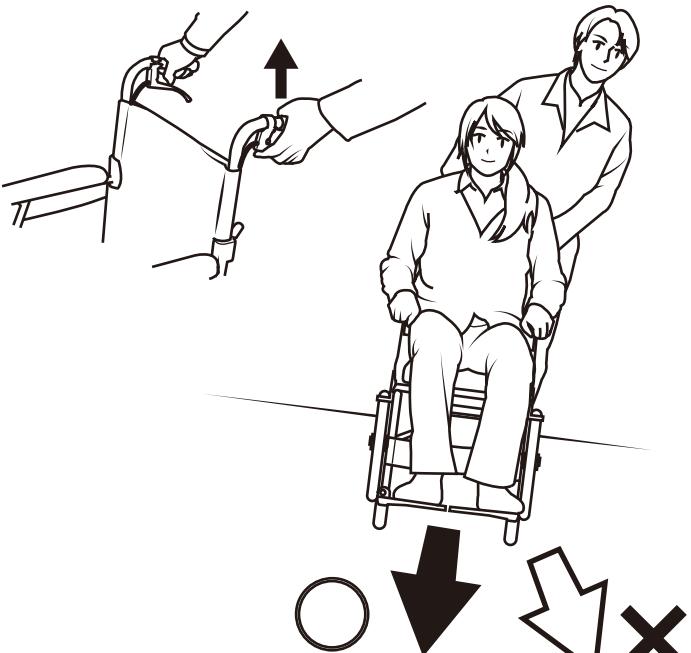
車いすの押し方

介助者がしっかりとグリップを握り進行方向へ押してください。
急発進・急停止は乗車者に不快感を与えます。
声をかけるなどの配慮をお願いいたします。

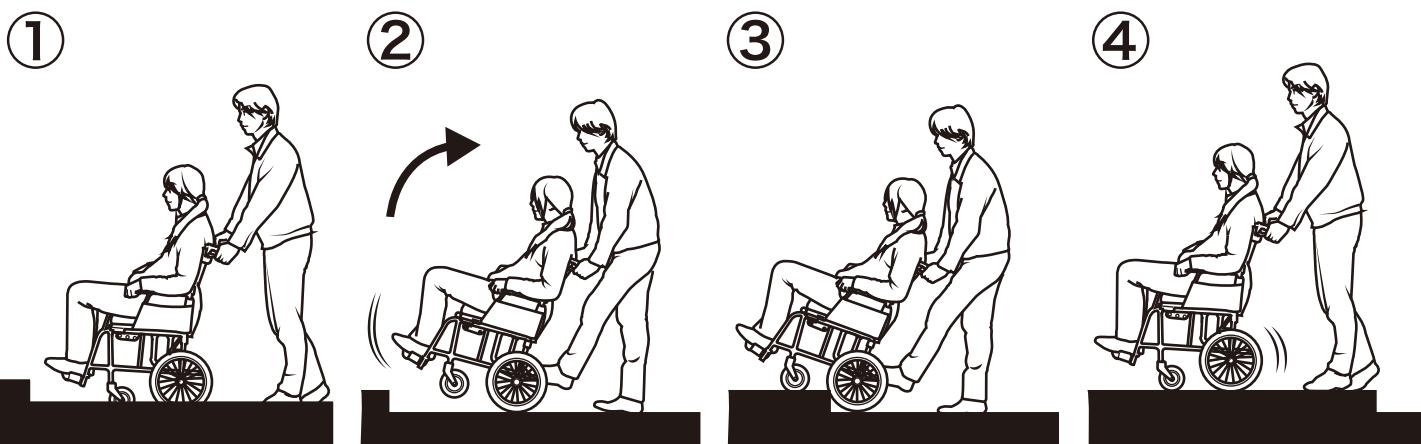
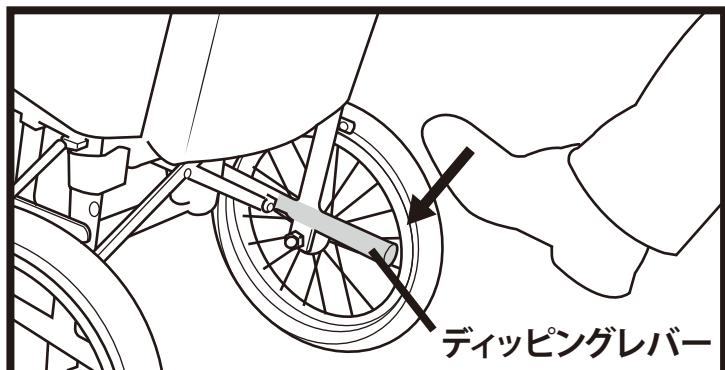


■屋外での注意(傾斜した道など)

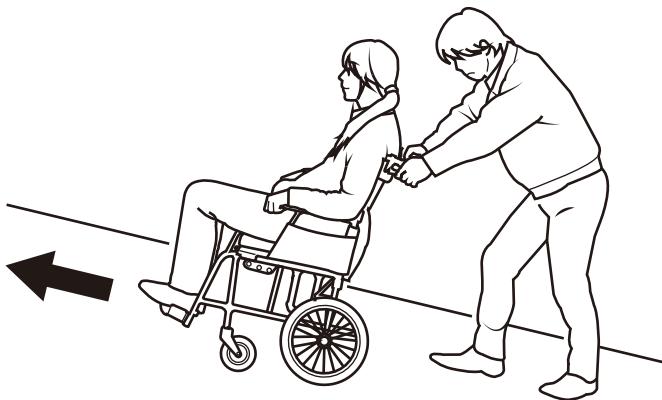
傾いている側の手に力を入れて、車いすが低いほうへ曲がらないようにしながら進行方向へ押します。
普通の押し方では低いほうへ曲がってしまいますのでご注意ください。



【段差の乗り越え方】



【坂道での押し方】



上るときは前向きで



下るときは後ろ向きで

※坂道では、前傾姿勢で前向きで上り、後ろ向きで下るのが基本です。

⚠ 警告

坂道を前向きで下ると、乗車者が前方に転倒したり、前側にずり落ちるなど大変危険ですので、行わないでください。

【溝や踏切の通行】

キャスターや駆動輪の幅・直徑よりも広い溝や踏切等を横断するときは、溝に対して直角に進入してください。

直角ではない場合、キャスターや駆動輪が溝にはまり、抜けなくなる場合があります。

溝の手前でキャスターを持ち上げ、通過する方法もあります



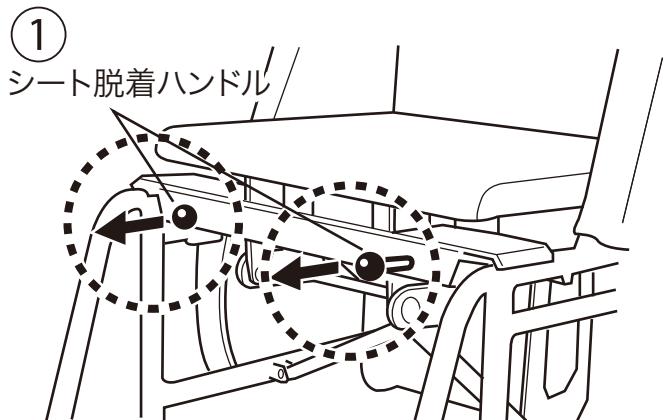
【グレーチングの通行】

グレーチング(側溝を埋める金網状のふたなど)を通過する場合は、溝に車輪がはまり込まないよう、右図のようにグレーチングに対して斜めに進入してください。

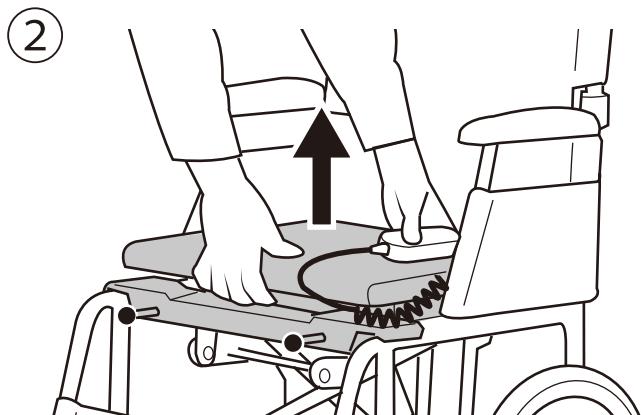


シートユニットの取り外し

△注意 駐車ブレーキをロックしてください。



座面前側のシート脱着ハンドル(黒玉)2か所を止まるまで手前に引き出してください。

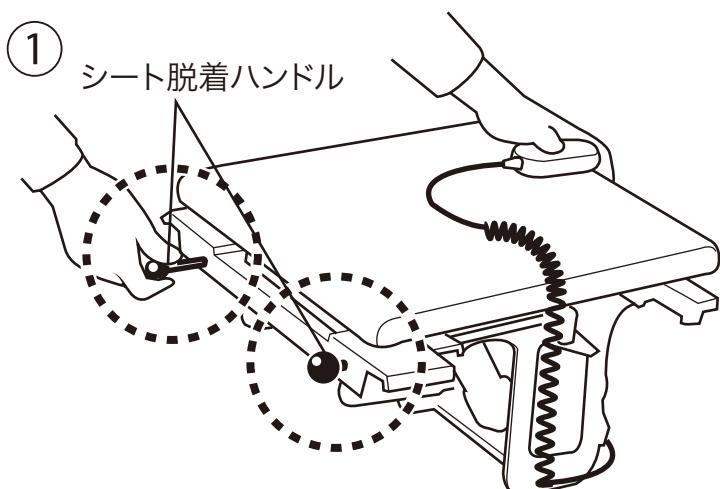


リモコンのコードが絡んでいないことを確認し、座面の前後に手をかけ、シートユニットをゆっくりと持ち上げてください。

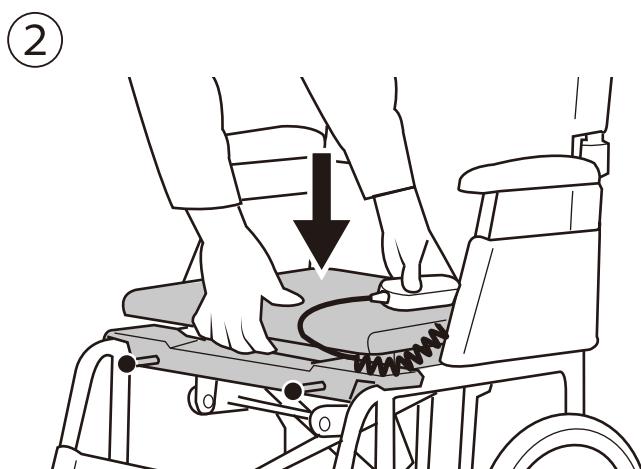
※リモコンを落とさないよう注意してください。

シートユニットの取り付け

△注意 駐車ブレーキをロックしてください。

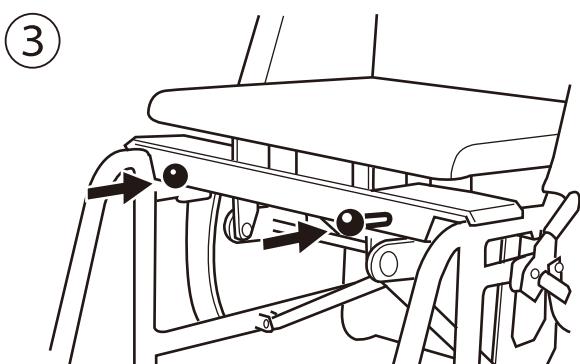


座面前側のシート脱着ハンドル(黒玉)2か所を止まるまで手前に引き出してください。
引き出されていない状態で座面をセットすると、フレームが曲がったり、正常に動作せず故障の原因となります。

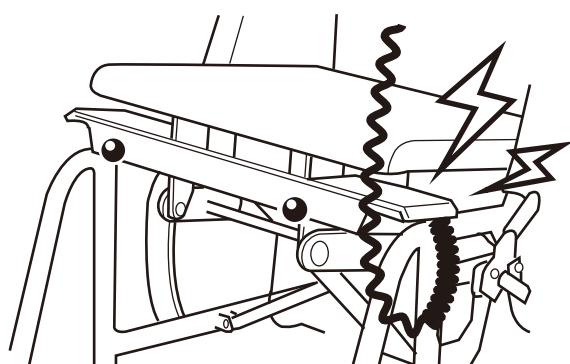


座面の前後に手をかけ、シートユニットを車いすの上方からゆっくりとおろしてください。

その際、リモコンのコードを挟み込まないよう注意してください。

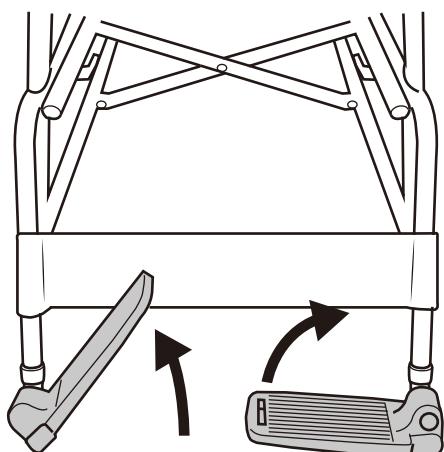


シート脱着ハンドル(黒玉)2か所を止まるまで確実に押し込んでください。

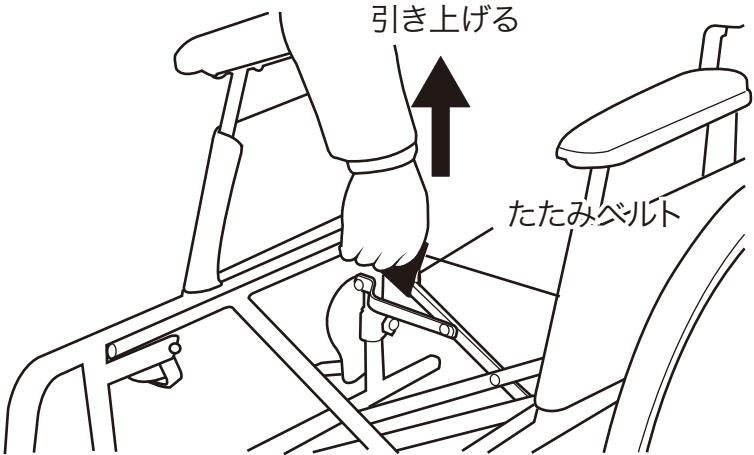


シートユニットが本体フレームに正しく装着されているか、リモコンのコードを挟み込んでいないかを確認してください。

車いすのたたみ方

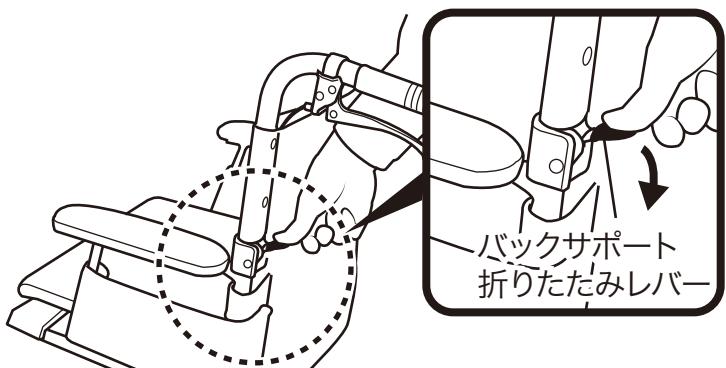


左右のフットサポートプレートを上方に回転させて収納します。

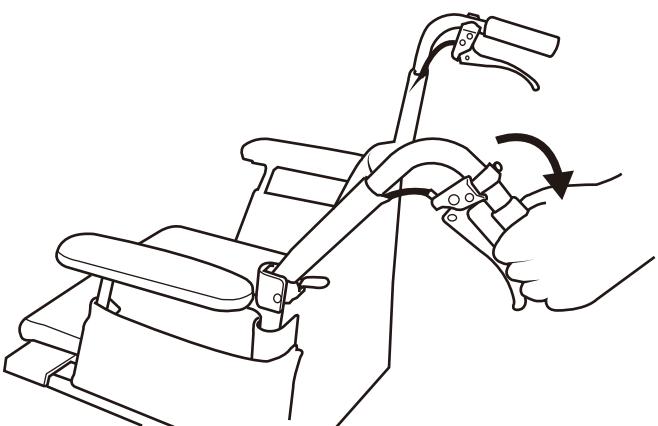


エックスフレームのたたみベルトを上方に持ち上げると車いすが折りたたまれます。

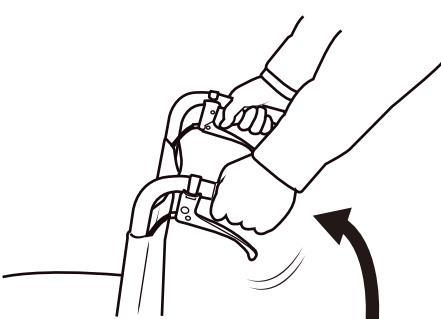
手押しハンドルのたたみ方



バックサポート折りたたみレバーを下方向に倒すとロックが解除されます。



ハンドルを握り、下方向に押し下げるよう折り曲げてください。反対側のハンドルも同様に折りたたんでください。

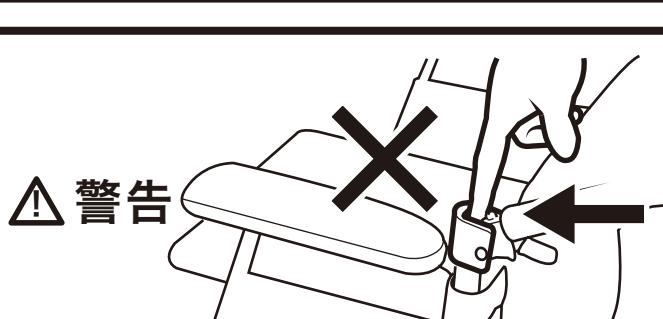


車いすを使用するときは、ハンドルを握り、上方向に押しあげるよう持ち上げてください。

左右のスライドピンが「カチッ」とロックされたことを必ず確認してください。

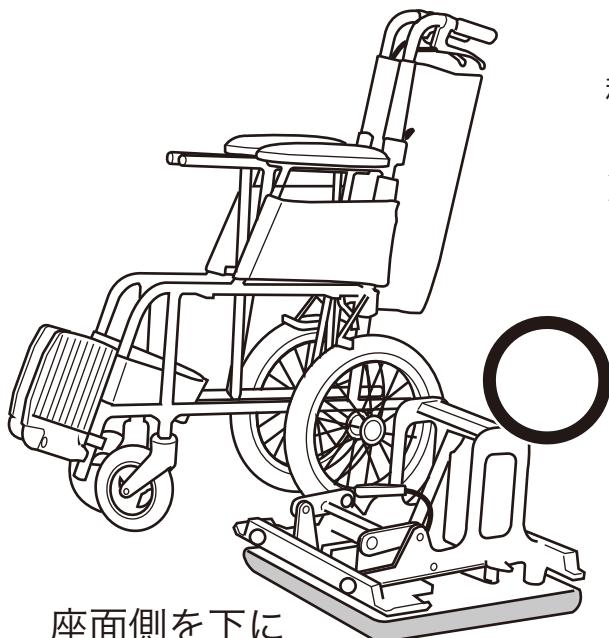
⚠ 警告

車いすを使用する際は、完全にバックサポートが固定されてから着座してください。



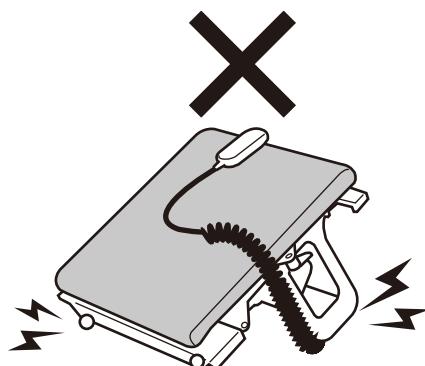
矢印の部分に指やバックサポートのシートを挟み込まないように注意してください。けがや、バックシートの破損の原因となります。

シートユニットを床に置く際の注意



シートユニットを床に置いたり、車のトランクに積み込む際は、必ず座面を下にして置いてください。

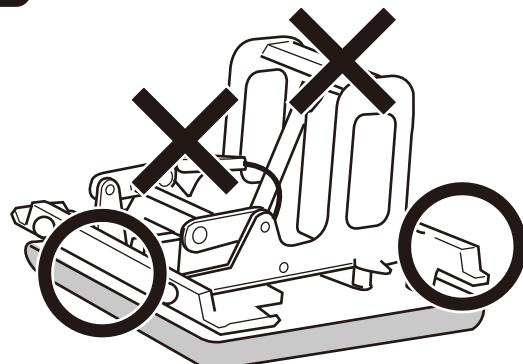
※金具側を下にしますと、金具で床面に傷つけてしまう恐れがあります。



シートユニットを持ち運ぶ際は

シートユニットを持ち運ぶ際は、フレームの前後に手をかけてください。

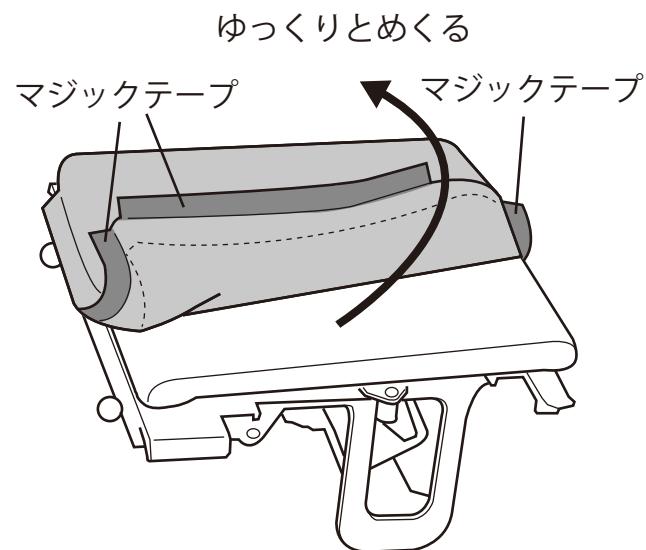
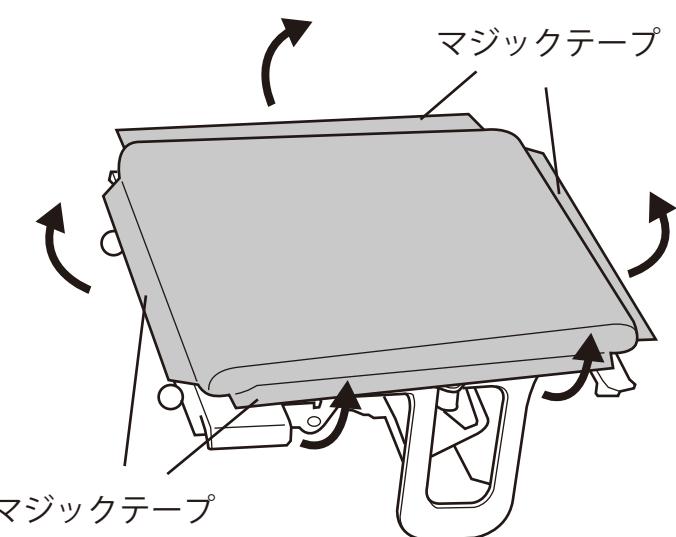
駆動部やケーブル類には触れないでください。



座面カバーの剥がし方

座面カバーをはがすときは、座面の下部でカバーを固定しているマジックテープをはがし、ゆっくりとめくりとってください。

※マチのある側が側面になります。



※カバーをかぶせるときは、逆の手順で取り付けてください。

メンテナンス・保管方法

- ボルトの緩み、フレームのがた、タイヤの空気圧などのチェックは日常的に行ってください。
- 各部のメンテナンス(調節・補修・修理・部品交換)は取扱店にご連絡ください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での長期保管は避けてください。

△ 警告

- 各部のがたつきやネジの緩み、タイヤのすり減り、その他の不具合により思わぬ事故につながる恐れがあります。定期的にチェックを受け、不具合がないか確かめてください。
- 使用者の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- 身体に合わない状態での使用はおやめください。
- 各部の調整・調節を行う際は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。
- 走行時には地面に凸凹や障害物のないことを十分に確認してください。走行中に凸凹やH宋が異物に接触するとバランスを崩し転倒の恐れがあります。
- 倒れ掛かるような座り方や、身を乗り出すような座り方はしないでください。バランスを崩して転倒する恐れがあります。
- 悪路や坂道では特に注意して操作してください。バランスを崩し転倒する恐れがあります。
- エスカレーターの出入口付近、エレベーター、自動ドアの付近で使用する際は注意してください。
- 踏切を横断する際は、車輪をレールに対して直角にして進入してください。斜めの角度で侵入するとレールの溝に車輪がはまり込み大変危険です。
- 手押しハンドルやフレームなどに手荷物等をかけないでください。荷物等が各部に当たり誤作動を引き起こしたり、バランスを崩す恐れがあります。
- フットサポートの上に立たないでください。製品の破損だけでなく、転倒による事故の恐れがあります。
- 持ち運びの際は本体フレーム以外を持たないでください。アームサポートやフットサポート、手押しハンドル、シート等をもって運ぶと、製品の破損や事故につながる恐れがあります。
- 坂道での駐車、リモコン操作はしないでください。
- 本書記載以外の使用方法はしないでください。
- 踏み台や脚立、歩行器の代わりに使用しないでください。
- 子供に使用させないでください。
- 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- フレームの折れ、曲がり、シートやバックサポートの破損など、壊れた状態での使用はおやめください。
- 乗車者・介助者とも、車いす使用時は靴を履いてください。裸足で使用されますと思わぬけがの恐れがあります。
- 体重が製品の耐荷重以上の方はご使用いただけません。

△ 注意

- 周囲に子供がいる際は、指や手足を挟むなどして負傷させてしまう恐れがありますので特にご注意ください。
- タイヤの空気圧が低いと駐車ブレーキが正常に働かない恐れがあります。日常的に点検してください。
- 製品をゆすったり、踏んだり乱暴な取扱い、落下やたたくなどの強い力や衝撃を食わせないでください。製品が破損する恐れがあります。
- 水にぬれた場合、そのままにしておくと製品にさびやカビなどが発生する恐れがあります。濡れてしまった場合はすぐに布などで水分をふき取ってください。水中での使用はおやめください。
- 気温の差の激しい場所や以上に高温な場所(車中など)に製品を放置しないでください。フレームを痛めてしまうだけでなく、厚くなつたフレームでやけどをしたり、高温になつたシートに座ることで体調を崩す恐れがあります。
- 改造や分解は行わないでください。
- 製品の改良等により、製品の詳細が本書と異なる場合があります。詳細につきましては取扱店にお問い合わせください。
- 座面下の駆動部には触れないでください。負傷する恐れがあります。

故障かな、と思ったら

故障かなと思ったら、下記項目を確認し、解決できない場合は取扱い店にお問い合わせください。

症 状	原 因	解決方法
斜行する・まっすぐ走らない	駐車ブレーキが解除されていない。 主輪の空気圧が足りない。(左右で空気圧が違う) キャスター取り付け部が緩んでいる。 キャスターがスムーズに回転しない。	駐車ブレーキを解除してください。 空気を補充してください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。
駐車ブレーキが効かない	主輪・駆動輪の空気圧が足りない。 ブレーキシューが汚れている。 主輪・駆動輪のタイヤが摩耗している。 ブレーキがガタつく(本体が動く) ブレーキシューとタイヤが接触していない。	空気を補充してください。 ブレーキシューの油分をふき取ってください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。
介助ブレーキが効かない	主輪・駆動輪の空気圧が足りない。 主輪・駆動輪のタイヤが摩耗している。 ブレーキワイヤーの伸び・断線 ブレーキシューの摩耗	空気を補充してください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。
主輪・駆動輪に空気が入らない	空気入れの種類があつてない。 タイヤチューブのパンク エアバルブ(虫ゴム)の劣化	正規のタイヤ空気入れを使用してください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。
車いすを折りたためない	フットサポートが干渉している。 積載物などが挟まっている。 車いすの折りたたみ部分が硬い 介助ブレーキワイヤー等の引っ掛け	フットサポートをたたんでください。 詰まっているものを取り除いてください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。
車いすを広げられない	車輪が宴席などに接触している。 車いすの折りたたみ部分が硬い。 シートを挟み込んでいる。 介助ブレーキワイヤー等の引っ掛け	広い平坦な場所で再度お試しください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。 取扱店に修理を依頼してください。
異臭がする	シートやアームサポートの汚れ。	取扱店に修理を依頼してください。
異音がする・車いすがぐらぐらする	シートの伸びによる干渉。 サビ・摩耗・汚れ等による油切れ。 主輪・駆動輪取り付け部の緩み。	取扱店に修理を依頼してください。

お手入れと保管

お手入れ方法

- ファブリックのお手入れは、布の目に沿ってブラシをかけながら軽く叩いてホコリを浮かせた後、掃除機で吸い取って下さい。粘着式のクリーナーを使用すると、繊維の表面を傷める事がありますのでお避け下さい。
- ジュースなどの液体をこぼしたときは、直ちに薄めた中性洗剤を軽く絞ったタオル等で軽くたたくように吸い取ってください。擦ると汚れを広げてしまう原因となります。その後、風通しのいい場所で乾かしてください。

⚠ 注意	お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜くこと 感電やけがをすることがあります。	 プラグを抜く
	ベンジン・シンナー等で拭いたり、殺虫剤をかけないこと 感電・引火の原因になります。	 禁 止

保管

- 汚れやほこりをとった後、湿気の少ない所に保管してください。(カビやシミの原因になります。)
- 直射日光が当たる所、ストーブなどの近くで直接高温になる所はさけてください。

⚠ 警告	分解・改造・修理をしないこと 火災・感電・けがの原因に なります。	
-------------	--	--

故障かなと思ったら

※修理サービスを依頼する前に以下の点をご確認下さい。

こんなときは	調べること	対策
ボタンを押しても動かない	●バッテリーの充電は行いましたか? ●リモコンの安全キーが抜けていませんか? ●ケーブルは接続されていますか	→充電を2時間以上行う →安全キーをリモコンに差し込む →ケーブルをしっかりと差し込む

それでも問題が解決されない場合は、『保証とアフターサービス』の項をご参照下さい。

仕様

中国製

品 名	電動リフトアップ車いす	サイズ(cm)	自走タイプ 幅63×奥行96.5×高さ88cm
型 名	L78		介助タイプ 幅56×奥行95×高さ89.5cm
定 電 源	AC100V 50-60Hz	本体重量	自走タイプ10.5kg・介助タイプ7.8kg
格 充電時消費電力	15W	シートユニット重量	8kg
耐荷重量	75kg	フレーム主材	アルミ
シート可動角度	18度	シート張地	平織布(ポリエステル)
電 源 コ ー ド	約5m(延長コード含む)	バッテリー	鉛蓄電池
使 用 人 員	1人		

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

修理・お取り扱いについて

修理やお取り扱い・お手入れに関するご相談は、まず当製品取扱店までお申し付けください。

保証書

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・取扱店名」等の記入をお確かめの上、取扱店から受け取っていただき、内容をお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお届け日から1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは

電源を切り、使用を中止し必ず電源プラグをコンセントから抜いて、当製品取扱店にご相談ください。

■保証期間中は……………

保証書の規定に従って修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、取扱店に保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは……………

保証期間経過後の修理については、当製品取扱店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ……………

修理料金は技術量・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料 配送料	商品のある場所へ技術者を派遣、または商品の引き取りと再配送にかかる料金です。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	取扱店名	電話()		-

このような 症状はあり ませんか。	長年ご使用されたら点検をぜひ！
	<ul style="list-style-type: none">●こげくさい時がある。●モーターの異常音がある。●動作しないときがある。 

France Bed

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148

0120-39-2824

フリーダイヤル：月～金 9時～12時、13時～17時
(※土、日、祝祭日、年末、年始等は除く)

保証書

お届け日 平成 年 月 日

ご芳名 様

お客様 ご住所

TEL

店名・住所

販売店

保証期間：お届け日より1年

保証の適用除外

保証期間中でも次のような場合には、有料修理又は出張料を申し受ける事があります。

- (1) 本保証書のご提示が無かった場合。
- (2) 本保証書にお届け日、お客様名、販売店名の記入が無く、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
- (3) 保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
- (4) 誤った使用あるいはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
- (5) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。
- (6) ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。
- (7) 火災、地震、風水害、落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害による故障又は損傷が生じた場合。
- (8) 指定電源(AC100V 50Hz/60Hz)以外の使用、及び異常電圧による故障又は損傷が生じた場合。
- (9) 本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。
 - ①布地、革、ソフトレザー等の破損、変色。
 - ②木部の変質、塗装・メッキ部の曇り変色。
 - ③電球の切れ。
- (10) 一般家庭用以外（例 業務用等）に使用された場合の故障及び破損。
- (11) 設置場所（床面のゆがみ等）に起因される異音、組立不具合。
- (12) 本製品外より発生した食虫害。

設置場所

(1) ご贈答品、あるいは転居等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書記載のお客様相談室へご相談下さい。

(2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

法的責任

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

保証の態様

- (1) 保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
- (2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にご連絡下さい。
- (3) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い訪問に要する実費を申し受けます。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。

※ご注意 納品書又は領収書を併せて保管願います。

保証の対象

消耗部品を除く、本体とし保証期間は別表によります。尚、別売部品をご選択の場合は、別売部品添付の保証書によります。

免責

本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

販売店様へのお願い

ご販売又はご配送時に保証書の所定事項（お届け日、販売店名）をご記入の上、お客様へお渡し下さい。

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148
TEL 042(543)3111 (代表)

